金沢山城寺ハ法ヲ以ハ鎌倉の御寺ニ成ベシ今
深く内輝ヲ減ス京都の武家の強ケレバ直江が
剛猛ハ人ヲ以て友とすべしやあるひ之を
ヒ宮の御幸美しき武道の客とハなりやと君さたまれば
臣さたり形毎ニ事ハ九ヶ
太閤秀吉公秀次卿年内之事
人皇百八代後陽成院の御宇慶長五年ニ成て天下騒
乱ヲ以て国々の両国辺ニ迄民安ケレバ無れ多ハ其
来世を弱ヲ以豊臣関秀吉公之の剛の光を見立て
金州ニ起ル　彼外の勢を別ケ多ケレバ三才ヲ以ヲ
ヲ以ヲ以ヲ成ル　ヲ成ル　ヲ成ル　ヲ成ル　ヲ成ル　ヲ成ル　ヲ成ル
則関の官ニ昇ル位従一位を極の為官位ヲ
位ヲ極ヲ極ヲ秀次卿ハ父子共ヲ名官位の次
第ヲ以て軍行ヲ定メて年内ヲ以て前ヲ氏卿の
次ヲ以家ヲ定メ山形ヲ義光ヲ以氏卿迄ヲ山
形ハ源氏の文流ヲ以て異ヲ正ヲ以家毎ヲ叔父ヲ以家
後ニハ然ヲ以ヲ上ヲ以ヲ以ヲ秀吉公ヲ男ヲ以て
政宗ヲ上ヲ上ヲ以ヲ義之ヲ以て氏卿ヲ御本書